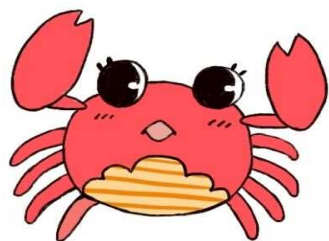


令和4年度豊かな体験活動推進研修

研修Ⅲ テーマ

「SDGsの視点をふまえた海の体験活動」

漂着物を活用したSDGs関連プログラム



大分県立香々地青少年の家

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



どの目標項目について扱うことができるか？

香々地の自然



香々地の夕日



香々地の夕日



美しいビーチ



きれいな海



香々地の生き物



香々地の生き物



香々地の生き物



香々地の生き物





香々地での体験活動を通して学ぶのであれば・・・



香々地青少年の家の教育事業(一部)

令和4年度教育事業一覧(予定)			◎○重点事業		
区分	事業名	期日	対象	SDGsとの関連	
I 学校教育と連携した体験活動・指導者養成					
◎	1 集団宿泊活動に関する調査研究	通年 調査期間：学校利用期間 検証・報告：学校利用終了後～年度末	学校		 
	2 集団宿泊活動指導者研修会	①第1回 5月13日(金) ②第2回 6月13日(月)	教職員		
	3 豊かな体験活動推進研修 (教職員研修)	①【一般選択】5月31日(火) ②【中堅選択】8月3日(水)	教職員		  
	4 ボランティア活動実地研修	1泊2日	大学生他	     	
II 森林環境学習					
◎	5 「森の子学校」体験活動推進事業	(宿泊研修) 小・中学校10校 ※九重含む	児童生徒	 	   
○	6 生き生き自然体験キャンプ	①第1回 3泊4日 ②第2回 2泊3日 ③第3回 1泊2日	児童生徒		

本日の研修内容

- ①漂着物収集（海岸） ※ビーチコーミング
- ②漂着物を活用した環境学習プログラム
（SGDs関連）

ビーチコーミングとは

海岸などに打ち上げられた漂着物を収集の対象にしたり観察したりすること。

漂着物を加工したり標本にしたり装飾にしたりして楽しむこと。



海岸などに打ち上げられた漂着物を収集・観察し、**環境**について考える活動

香々地には、どのようなものが漂着物しているのだろうか。

- ・予想しよう ⇒ ワークシート
- ・グループで意見交換

実際に漂着物を 収集してみよう

集合：キャンプ場 マリン下

準備：軍手、水筒、ビニール袋など

集めた漂着物を広げて、
グループで見せ合おう

◆漂着物にはどんなものがあったか。

<例>

- ・ペットボトル、ビニール袋、発泡スチロール(容器)、ストロー
- ・空き缶、ビン、靴、漁具・網
- ・木片・木くず、海藻、釣り糸

◆2つのグループに分けてみよう

⇒自然物と人工物に分けられる

海洋ゴミ(プラスチック)は、どのような影響をあたえるのか。

- ①生物への影響
- ②船舶の航行安全に支障
- ③観光や沿岸域の居住環境の悪化
- ④汚染物質の付着
など

8 : 2

これは、何を表しているのでしょうか。

海洋ゴミ(漂着物)の8割は
街から来ている

◆ターゲット

2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。



私たちにできることを考えて
みよう。

MSC認証やASC認証の商品を購入する



エコバッグを使用しプラスチック削減

ビーチクリーンや河原清掃活動に参加



ポイ捨てをしない

2050年に
起こるかもしれないこととは？

- ① プラスチックゴミがなくなる
- ② 海の環境が改善する
- ③ 海のプラスチックゴミが魚の重量を超える